



3-1-① 商工業の振興

目的

地域経済の活性化を図るため、市内中小企業の育成に努めるとともに、中央商店街のにぎわいづくりや企業の誘致・交流を推進し、地域を支える商工業を振興します。

現状

中小企業は本市の事業所の大多数を占めており、本市のまちづくりに欠かすことのできない重要な存在であることから、中小企業指導団体が行う中小企業振興に係る事業への支援や、中小企業の経営改善・安定のために必要となる資金需要に応えるため、中小企業融資を実施しています。

また、周辺環境の変化や、消費者ニーズの多様化などにより、中央商店街の空き店舗が増加傾向にあることから、中央商店街のにぎわい向上やハード整備のための支援を行っています。

また、企業誘致専門員を配置し、企業立地のための情報収集やネットワークづくりに取り組

むとともに、企業誘致優遇制度を活用して、企業の支援を行っています。



高松丸亀町商店街

課題

- 事業者が本市で創業するように、周辺環境の整備が求められています。
- 本市経済の持続的な発展のため、中小企業の育成と振興を図ることが強く求められています。
- 中央商店街のにぎわいを向上させるため、空き店舗率を改善することが必要です。
- 地域経済の発展、産業の高度化及び雇用機会の拡大を図るため、企業誘致を強化することが必要です。

取組方針

1 中小企業等の育成と振興

高松市中小企業基本条例に基づき、国、県、経済団体、大学、金融機関等との連携協力により、中小企業者の経営の革新及び経営基盤の強化の促進、創業の促進、人材の確保・育成への支援等、中小企業振興施策を実施します。

また、中小企業の育成・振興は、本市経済の発展と市民生活の向上に欠かせないものであるという認識を、本市及びまちづくりの担い手である市民等で共有し、中小企業を一層元気にすることで、地域経済の活性化を図ります。

2 中央商店街の活性化

中央商店街のにぎわい向上や商業機能の強化のため、利用者のニーズに合った効果的な空き店舗活用支援を行うほか、商店街共同施設の改修等、他の中央商店街にぎわい促進事業と効果的に組み合わせ、中央商店街の更なる活性化を進めていきます。



高松常磐町商店街

3 企業誘致・交流の推進

高松市企業誘致条例に基づき、市内に施設を設置する企業への支援及び企業誘致専門員による企業立地の情報収集、誘致活動を効果的に実施することにより、更に企業立地を促進するとともに、既に立地している成長企業への継続的な支援により、本市に定着させ、雇用の創出を図ります。



企業展示会へ企業誘致ブース出展
(香川県企業誘致推進協議会)

成果指標

指標名	指標の説明	現況値	目標値	
			(平成31年度)	(平成35年度)
中小企業経営講習会の年間受講者数	本市と高松商工会議所の共催により開催している中小企業経営講習会の年間受講者数	2,271 人	2,400 人	2,500 人
中央商店街の空き店舗率	中央商店街における店舗のうち、空き店舗が占める割合	17.2 %	14.9 %	14.9 %
企業誘致助成制度指定件数	企業誘致助成制度の指定件数（平成21年度以降の累積指定件数）	30 件	55 件	75 件



3-1-② 農林水産業の振興

目的

農業と農地を地域で守り育て、安全・安心で良質な農水産物の生産を振興するとともに、森林の整備保全に取り組みます。

現状

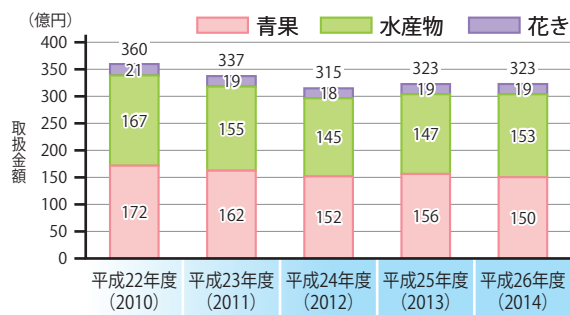
農林水産業は、従事者の高齢化や後継者不足が深刻化しています。

農業については、中山間地域など営農活動の利便性が低い農地では、耕作放棄地が増加しており、鳥獣による農業被害も広がっています。農業経営の安定化と生産力を確保するため、経営所得安定対策を行っていますが、生産者の経営は厳しい状況にあります。

水産業については、有効に資源を利用するため、栽培漁業を振興しており、林業については、従事者の減少や木材価格の低迷等により生産活動が停滞しています。

また、卸売市場及び食肉センターの円滑な管

理運営を通じ、農林水産物等の円滑な流通と消費者への安定した供給を担うとともに、卸売市場の一般開放等を実施し、市場の役割や消費拡大についての情報発信を行っています。



※各取扱金額は、四捨五入により表示。

本市卸売市場取扱金額の推移

課題

- 農林水産業の生産体制を強化するため、担い手の育成・確保と生産基盤の保全・整備についての取組が必要です。
- 農林水産業の経営安定、生産振興の取組と、農作物の鳥獣被害を防止するための対策強化が必要です。
- 農水産物の需要拡大と市民の健康で豊かな食生活を実現するため、食育及び地産地消の推進が必要です。
- 生鮮食料品等の流通を担う卸売市場については、施設の耐震性に課題があるとともに、より高度な機能を有した施設整備が求められています。

取組方針

1 生産体制の整備

効率的かつ安定的な農業経営体を育成するため、認定農業者や認定新規就農者など、担い手の確保と育成を図るほか、地域ぐるみで取り組む集落営農を推進します。

また、優良農地を確保するため、耕作放棄地の再生利用や担い手への農地集積を促進することにより、耕作放棄地の解消と発生防止に努めるとともに、機械・施設整備に対して支援し、生産体制の整備を行います。



耕作放棄地再生利用後の状況

2 生産の振興

農業については、農産物が安定的に生産できるよう支援するとともに、野菜・果樹等の高品質・高付加価値化を進め、効率的な農業に取り組めます。

水産業については、種苗の放流により、「とる漁業」から「つくり育てとる漁業」への転換を一層進め、漁場の再生や資源管理を推進します。

また、鳥獣被害防止計画に基づき、鳥獣による農作物等への被害を防止するため、猟友会等による捕獲活動のほか、農家等が実施する防護施設設置や、野生鳥獣が近づかない環境整備を支援します。



養殖魚「オリーブハマチ」の出荷

3 食育・地産地消の推進

地元産の新鮮で安全・安心な農水産物の活用や産地直売所を支援し、地産地消を推進するほか、消費者と生産者との交流促進により、食と農に対する理解を深めます。

4 生鮮食料品等流通の強化

生鮮食料品等の流通機能の強化を図るため、卸売市場の施設整備を進めるとともに、農林水産物等の安定供給や安全・安心の確保のため卸売市場及び食肉センターの円滑な管理運営に努めます。

成果指標

指標名	指標の説明	現況値	目標値	
			(平成31年度)	(平成35年度)
認定農業者数	本市が認定した認定農業者数	311 経営体	320 経営体	320 経営体
農畜産物販売額 (JA取扱金額に限る)	市内の農畜産物販売金額 (JA取扱金額に限る)	38.2 億円	38.2 億円	38.2 億円
卸売市場の取扱金額	青果、水産物及び花きの取扱金額	323 億円	323 億円	323 億円



3-1-③

特産品の育成・振興とブランド力の向上

目 的

本市ならではの伝統的ものづくりによる特産品を育成・振興するとともに、ブランド力の向上に取り組めます。

現 状

本市は、平成26年3月に高松市伝統的ものづくり振興条例を制定し、それに基づいて、特色ある伝統文化に光を当て、伝統的工芸品を始めとした伝統的ものづくりの振興を行っています。

盆栽については、23年に国内初となるASPACアジア太平洋盆栽水石大会を開催し、さらに、26年には高松盆栽大会を開催したことにより、盆栽の里高松の認知度は国内外で向上しています。また、EU向け盆栽輸出登録申請者を中心に高松盆栽輸出振興会を設立し、盆栽の輸出拡大と「高松盆栽」のブランドイメージの確立に取り組んでいます。

また、盆栽以外の漆器や石製品等の伝統的ものづくりについても、ものづくりを担う人材の確保及び育成、市民が伝統的ものづくりに触れ合う機会の確保、伝統的ものづくりの製品のブ

ランド力の向上、販路拡大の取組への支援、国内外への情報発信に取り組んでいます。

また、高松市内で生産される代表的な野菜や果物等を高松産ごじまん品として推進し、生産振興と販売促進に取り組んでいます。



課 題

- 地場産業を振興するため、関係団体と連携し、後継者育成のための取組が必要です。
- 伝統的ものづくりに関わる売上向上のため、認知度を高め、販路拡大に向けた取組が必要です。
- 盆栽、漆器、石製品等を始めとする全ての特産品について、それぞれの特性に応じた取組が必要です。

取組方針

1 特産品の育成・振興

盆栽、漆器、石製品を始めとする本市の伝統的ものづくり産業について、ビジネスマッチングや商談会を開催し、特産品の販路拡大や後継者の確保・育成につなげます。

また、事業者や伝統的ものづくり関係団体、市民と多様な協力関係を構築し、市全体で伝統的ものづくりを支える環境づくりを推進します。

また、高松産ごじまん品を主とした地元農産物のPR活動と、それらの加工品の開発を推進します。



高松産ごじまん品販売促進PR

2 ブランド力の向上

本市の自然や歴史、文化から生み出される、伝統的ものづくりの製品や特産品、農産物について、その価値・評価を高め、ブランド力の向上に取り組みます。



盆栽海外バイヤー商談会



伝統の讃岐漆器



AJIPROJECT（アジプロジェクト）

成果指標

指標名	指標の説明	現況値	目標値	
			(平成31年度)	(平成35年度)
販路開拓事業等来場者数	販路開拓事業等の来場者数	17,600人	20,600人	23,000人
盆栽輸出登録申請者数(EU)	農林水産省神戸植物防疫所坂出支所に申請があった数	19人	24人	26人
伝統的ものづくり普及啓発事業等参加者数	伝統的ものづくり親子体験教室や巡回教室等の参加者数	515人	800人	1,000人



3-1-④

就業環境の充実

目 的

就業者が長く働き続けられる、安定した魅力ある就業環境づくりを進めます。

現 状

希望する人全てが、それぞれの知識や技能をいかして、働きやすい環境で就労できるように、就活応援・適職相談事業を実施しています。

また、地域経済の根幹である中小企業の就業者にとって、ワーク・ライフ・バランスが図られた働きやすい職場環境づくりを推進するため、平成18年度から子育て支援中小企業等表彰事業を実施しているほか、たかまつ労政だよりやワーキングたかまつにより、市民や就業者に、労働諸制度や職場の安全衛生に関する情報等の提供を行っています。

また、中小企業就業者の福祉の増進と中小企業の振興を図るため、中小企業勤労者福祉共済事業の周知と加入促進を行っています。

また、高松テルサ条例に基づき、勤労者の福

祉の増進に寄与するために設置している高松テルサにおいては、指定管理者と連携して、効果的な施設運営を行うとともに、施設利用者へのサービスの向上を行っています。



就活応援・適職相談事業

課 題

- 求人があっても就職に結びつかない雇用のミスマッチの解消に取り組む必要があります。
- 仕事と子育て・介護の両立に向けた労働環境の整備に取り組む必要があります。
- 中小企業勤労者福祉共済事業の未加入事業所への加入促進に取り組む必要があります。

取組方針

1 就業支援の推進

有効求人倍率は一定の水準を確保しているものの、雇用のミスマッチが生じるなど厳しい状況が続く雇用環境に対応し、就業機会を拡大することができるよう、関係機関と連携し、就活応援・適職相談事業を実施するなど、就業支援に取り組みます。

また、就業者が安心して意欲的に働ける環境を整えるため、育児休業や介護休業制度の活用を促進するなど、ワーク・ライフ・バランスの考え方に基いた職場環境づくりに取り組みます。



子育て支援中小企業等表彰事業

2 勤労者福祉の充実

市内中小企業の勤労者が働きやすい環境で就労し、豊かでゆとりのある生活を送るため、就業環境の改善や福利厚生制度の充実など、勤労者福祉の向上に取り組みます。

また、勤労者福祉の増進と中小企業の振興に寄与することを目的に、高松市中小企業勤労者福祉共済事業への更なる加入促進に取り組むほか、高松テルサでは、勤労者に対して、教養・文化・研修・スポーツ等の場を提供し、勤労者福祉の充実と勤労意欲の向上に努め、効率的な運営と施設利用者の増加に取り組みます。



高松テルサ

成果指標

指標名	指標の説明	現況値	目標値	
			(平成31年度)	(平成35年度)
子育て支援中小企業等表彰事業の表彰事業者延べ数	子育て支援中小企業等表彰事業の表彰事業者の延べ団体数	56 団体	81 団体	101 団体
就活応援・適職相談事業来場者数	就活応援・適職相談事業への来場者数	384 人	480 人	560 人



3-2-① 文化芸術の振興

目的

市民がいきいきと心豊かに暮らせる魅力ある高松の実現を目指し、文化芸術を振興します。

現状

文化芸術は、人々に生きる喜びや誇りを与え、心豊かな市民生活を築く基盤となるものです。

文化芸術活動の推進事業として、学校巡回芸術教室、デリバリーアーツ事業、0才からのコンサート事業、まちなかパフォーマンス事業、市民文化祭など地域に根ざした事業を実施するとともに、瀬戸内国際芸術祭、高松国際ピアノコンクールなど国内外に向けて発信できる国際的な事業も実施しています。

また、美術館においては、自主企画展の開催など、展覧会の充実を図っています。

また、郷土が生んだ文壇の大御所・菊池寛の業績を顕彰し、市民の文学に対する理解と関心を深めるため、文学展や文学講演会、文芸講座や読書感想文講座を開催するほか、郷土文化・文学の向上を図るため、文学作品を公募し、優れた作品に香川菊池寛賞や菊池寛ジュニア賞を贈呈しています。



0才からのコンサート



瀬戸内国際芸術祭（女木島）

課題

- 県内外に誇れるイベントの継続的開催と効果的な広報が必要です。
- 多くの人が文化芸術に触れることができるよう、地域に出向いての活動や、中央商店街との連携推進が重要です。
- 子どもたちの文化芸術への理解と関心を深めるため、教育普及事業としての拡充が重要です。
- 菊池寛の偉業について、市民の認識を高めるため、菊池寛記念館の認知度向上と展示内容の充実や情報発信が必要です。
- 気軽に立ち寄れる美術館となるため、文化芸術を身近に感じられる環境づくりが必要です。

取組方針

1 文化芸術活動の推進

高松市文化芸術振興計画に基づき、地域に出向いての文化芸術の公演活動を継続するとともに、美術館事業や文化芸術事業を中央商店街等と連携して、より幅広い世代の集客を図るほか、既存の文化芸術施設の利用を含め、積極的・効果的な情報発信に取り組みます。

また、高松市美術館に新設する、「こども^{プラス}（こどもアートスペース）」を活用した美術プログラムを展開するとともに、学校との連携プログラムを持続させるほか、菊池寛の偉業についての学習機会の充実などを図ります。



「こども^{プラス}（こどもアートスペース）」イメージ

2 国際的な発信力を持つイベントの推進

県や関係団体等と協力し、瀬戸内国際芸術祭を開催するとともに、開催年以外においても、作品の維持管理やアートイベント活動を展開する、ART SETOUCHIを定着させます。

また、高松国際ピアノコンクールを成功させるとともに、開催年以外においても、審査員や入賞者等のリサイタル事業、公開レッスン、地域での演奏会等を開催するなど、コンクールの知名度や質の向上を図ります。



高松国際ピアノコンクール

3 文化芸術施設の整備と機能の充実

文化芸術ホール（サンポートホール高松）や美術館等の施設を適切に維持・管理し、イベントや展覧会等の開催、収蔵品の保管及び来館者の安全確保に取り組みます。

また、美術館などにおいて、美術品等の取得方針に基づき、収蔵する美術品等の計画的・系統的な収集に努めます。

成果指標

指標名	指標の説明	現況値	目標値	
			（平成31年度）	（平成35年度）
文化芸術ホールにおける事業の参加者数	文化芸術ホールにおいて開催される全事業の参加者数	215,293 人	220,000 人	225,000 人
アウトリーチ事業の参加者数	地域に出向いての文化芸術活動（アウトリーチ事業）の参加者数	67,757 人	75,000 人	85,000 人
美術館来館者数	高松市美術館及び塩江美術館の展覧会観覧者、イベント参加者、講座室利用者等合計人数	126,570 人	164,000 人	174,000 人



3-2-②

文化財の保存・活用

目 的

本市の貴重な文化遺産の保存・管理を行うとともに、適切に公開・活用します。

現 状

文化財は、我が国の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日に伝えられてきた貴重な国民的財産です。

史跡高松城跡（玉藻公園）については、石垣や披雲閣など各施設の保存修理や桜御門の復元などの整備を実施しています。

また、史跡・天然記念物である屋島の調査を実施し、史跡や天然記念物の内容の把握に努めるとともに、古代山城屋嶋城跡城門遺構を復元整備し、一般公開しています。

また、史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡指定地の公有地化を進めるとともに、調査により国分尼寺跡において尼坊、講堂等の遺構を確認しました。

また、史跡石清尾山古墳群への追加指定を念頭に、稲荷山姫塚古墳等積石塚3基の範囲確認調査を実施しています。

また、毎年、各種文化財に触れ、郷土の歴史・文化を学ぶ、ふるさと探訪、親子文化財教室などの文化財学習会を開催しています。



史跡高松城跡（良櫓）
うしとらやぐら



古代山城屋嶋城跡城門遺構現地説明会
やしまのき

課 題

- 貴重な文化財を、適切に管理するため、日常的な巡視の確保が必要です。
- 史跡の日常管理と活用の担い手として、市民協働による体制づくりが必要です。
- 市民の地元に対する愛着心を高めるため、文化財に対する関心や意識の向上が重要です。

取組方針

1 文化財の調査、整備、管理

稲荷山姫塚古墳等3基の積石塚の史跡石清尾山古墳群への追加指定を行うとともに、史跡石清尾山古墳群の保存活用・整備基本計画を作成し、史跡保存と従来の里山保全、健康増進等の市民活動との両立が図られるよう目指します。

また、市民協働により、文化財を適切に管理・活用できる体制を構築するとともに、文化財に関する情報のより積極的な公開に取り組みます。

また、史跡讃岐国分寺・国分尼寺跡の公有化を引き続き促進し、国分尼寺跡については、将来の整備・活用に向けて、発掘調査に取り組みます。

さらに、古代山城屋嶋城跡城門遺構を新たな地域資源として活用するほか、各文化財の説明板・道標等の新設・更新や、魅力ある文化財学習会の開催、文化財保持者等への補助など、本市の貴重な財産である文化財の保存・活用に取り組みます。



史跡石清尾山古墳群（石船塚古墳の石棺）

2 文化財に関する施設の運営と機能充実

高松城跡（玉藻公園）の管理運営について、文化財として、また都市公園として、適切に管理運営を行うとともに、市民のシンボルとしてふさわしい機能充実に取り組みます。

また、四番丁スクエアに設置している埋蔵文化財センター並びに歴史資料館等については、文化財を適正に管理しつつ、各館の特色をいかした展示や普及啓発に取り組みます。



讃岐国分寺史跡まつり

成果指標

指標名	指標の説明	現況値	目標値	
			（平成31年度）	（平成35年度）
歴史資料館等利用者数	歴史資料館・石の民俗資料館・香南歴史民俗郷土館・讃岐国分寺跡資料館の利用者数	137,486人	140,000人	145,000人
文化財学習会・体験講座参加者数	ふるさと探訪等文化財学習会・体験講座の参加者数	1,241人	1,300人	1,400人



3-3-① スポーツの振興

目的

市民の、スポーツをする・観る・支える（育てる）活動を促進します。

現状

スポーツは、人が健康に暮らし、人生を豊かにする上で重要であるとともに、地域の活性化を図る上でも必要不可欠なものです。

本市では、スポーツ活動振興のため、各種競技団体等と連携し、スポーツカーニバル、スポーツフェスティバル、サンポート高松トライアスロン大会などのスポーツイベント等を開催するとともに、各種競技団体等の指導者等を対象に、

指導者セミナーを実施しています。

また、地域密着型トップスポーツチームの支援として、ホームタウンデーなど、市民に試合観戦・応援の機会を提供しています。

また、スポーツ活動振興の拠点となるスポーツ施設の老朽化が進んでいることから、屋島陸上競技場やヨット競技場など、既存体育施設の再整備に取り組んでいます。

地域密着型トップスポーツチーム



香川オリブガイナース



高松ファイブアローズ



カマタマーレ讃岐



香川アイスフェローズ

課題

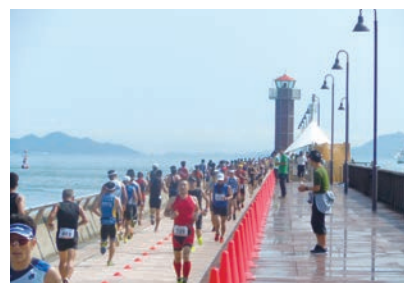
- 効率的・効果的なスポーツの振興のため、推進体制の見直しや、関係団体・指導者の育成が求められています。
- より多くの市民が参加できるよう、スポーツフェスティバル等のイベントについて、更なる工夫が必要です。
- スポーツ振興の拠点確保のため、ファシリティマネジメント及びユニバーサルデザインの視点を踏まえながら、スポーツ施設の整備や、老朽化に伴う改修が必要です。
- 地域のスポーツ振興や活性化、国際交流推進のため、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた、参加選手団の事前合宿等の誘致が重要です。

取組方針

1 市民スポーツ活動の推進

市民に様々なスポーツに関心を持ってもらう機会や参加する場を提供するとともに、総合型地域スポーツクラブの育成を支援するほか、より効果的なスポーツの振興のため、スポーツ関係団体の更なる連携などに取り組みます。

また、一人でも多くの市民が、スポーツへの関心や意欲を実践に結び付けられるよう、本市のスポーツイベントの核となる市民スポーツフェスティバルを始め、各種イベントの開催内容や周知方法の継続的な改善に取り組みます。



サンポート高松トライアスロン大会

2 スポーツ施設の整備

市民にスポーツ・レクリエーションを行う場所・機会をより効果的に提供するため、スポーツ施設を整備するとともに、ファシリティマネジメント推進基本方針に基づき、既存施設の老朽化に伴う再整備・修繕等に取り組みます。



新屋島陸上競技場イメージ

3 トップスポーツの振興

本市を始めとする県内の活性化やにぎわいづくり、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会参加を目指す県内選手の競技力向上のため、関係競技団体等と連携する中で、各種国際大会の事前合宿等の誘致に取り組みます。

また、引き続き、地域密着型トップスポーツチームを支援するとともに、市民の試合観戦・応援機会を提供します。

成果指標

指標名	指標の説明	現況値	目標値	
			(平成31年度)	(平成35年度)
社会体育施設利用者数	社会体育施設の延べ利用者数	1,983,195 人	2,591,000 人	3,137,000 人
トップスポーツチーム試合観戦者数	トップスポーツ 4 チームのホームゲーム観戦者数	124,000 人	154,500 人	179,200 人
トップスポーツ 4 チームの後援会等会員(高松市民)数	各チームにおける後援会やクラブの会員(個人)のうち、高松市民を抽出した会員数	952 人	1,300 人	1,600 人



3-4-①

観光客受入環境の整備

目 的

旅行者が、魅力あるイベントに接するとともに、安心して快適に、移動・滞在・観光することができるユニバーサルツーリズムに対応した受入環境を整備します。

現 状

本市を訪れた人々に、再び訪れてもらうためには、満足度の高いサービスを提供できる、本市の特性をいかした受入環境の整備が重要です。

そのため、源平屋島地域や塩江を始め、それぞれの観光地の特色をいかして、イベントの開催や観光施設の運営を行っていますが、主要観光地の入込客数は横ばいの状況です。

また、主要観光地のうち、史跡高松城跡（玉藻公園）では、和船体験や披雲閣での匠のおもてなし事業などにより、観光資源の魅力向上と特産品の振興及び販路の拡大を実現したほか、屋島については、古代山城屋嶋城跡の整備により歴史的価値を高める取組が行われています。

また、高松まつりなど、主要イベントの入込

客数は横ばいです。

また、観光施設については、安全性確保に向け、耐震診断を行うほか、観光案内板の整備など、観光客の利便性の向上に取り組んでいます。



さぬき高松まつり花火大会

課 題

- 近隣観光地とも連携した観光振興を図るため、イベントの魅力向上が重要です。
- 観光客の宿泊に結びつくナイト観光、食文化の魅力の創出など、新たな観光資源が求められています。
- 様々な主体が観光に対する情報を共有し、連携・協力する体制の整備が必要です。
- 多言語案内標識や外国語を話せるスタッフの充実を始め、ユニバーサルデザインを取り入れた、外国人受入環境の充実が求められています。

取組方針

1 観光資源の活用と創出

瀬戸内海や史跡・温泉などの本市の特色ある地域資源をいかしながら、ナイト観光や食文化の魅力を創出するとともに、ウォーターフロントのサンポート高松周辺の文化財、観光施設、コンベンション施設のほか、本州・四国間を結ぶ地域の重要な海上交通である宇高航路の効果的な活用による、地域間交流の促進を図るなど、国内外からの交流人口の拡大に取り組みます。

また、行政主導ではなく、地域住民や民間事業者が自立・主体的に観光資源を創出し、運営する体制の確立に取り組むとともに、民間主導の特色ある観光イベントを支援し、各種イベントの入込客数の増加に取り組みます。



玉藻公園の和船体験

2 観光施設等の効果的運営

民間事業者のノウハウを活用して、観光施設の集客力の向上を図るほか、施設の老朽化に対応した再整備・修繕を実施します。

また、多言語案内標識や外国語を話せるスタッフの充実を始め、ユニバーサルツーリズムに対応した観光施設等のバリアフリー化に取り組みます。



外国人観光客への対応

成果指標

指標名	指標の説明	現況値	目標値	
			(平成31年度)	(平成35年度)
観光施設等利用者数	市内の主な観光施設等利用者数	6,509 千人	6,570 千人	6,640 千人
香川県への再来訪意向割合	香川県観光客動態調査報告の「香川県への再来訪意向」におけるぜひ来たい人の割合	48.2 %	54.8 %	60.0 %



3-4-②

観光客誘致の推進

目 的

本市の観光都市としてのブランドイメージを向上させるとともに、文化芸術や瀬戸内海の多島美などの魅力を発信することにより、観光客を誘致します。

現 状

国内外の人々に本市の魅力を発信し、訪れてもらうための動機付けを行うことは、観光客誘致にとって重要です。

このようなことから、国内の誘客に努めるとともに、香川県と連携して、ソウル、上海、台北の航空路線の充実及び外国人観光客の誘致に取り組んでいます。

また、情報発信力強化のため、観光情報ホームページを「高松旅ネット」としてリニューアルし、利便性の向上を図るなど、情報発信力の強化に努めています。

また、(公財)高松観光コンベンション・ビューローを通じて、国際大会・全国大会の誘

致を図り、国際会議観光都市・高松のイメージアップに努めています。



第16回JAPAN EXPO（フランス パリ）における観光PR

課 題

- 観光都市としての魅力向上のため、観光資源のブランド価値を高めることが重要です。
- 観光客のニーズに合致したパンフレットの作成やホームページの更なる充実など、情報発信力の強化が重要です。

- 本市の特性をいかして、コンベンションなどMICE（マイス）の誘致に積極的に取り組むことが重要です。

取組方針

1 観光情報の効果的発信

瀬戸内海の島々や景観、史跡高松城跡、屋島を始めとする本市の観光情報を、効果的なコンテンツを用い、付加価値のある情報として国内及び海外に向け、積極的に発信することにより、情報の拡散と交流人口の拡大に取り組みます。

また、国内外から訪問した人が、移動等にストレスを感じないように、適切な情報提供を行うことで、リピーターとして何度も本市を訪れ、高松の良さを広めてもらえる、「高松ファン」の創出と拡大に努めます。



高松市観光情報サイト「高松旅ネット」

2 MICE（マيس）の誘致促進

（公財）高松観光コンベンション・ビューローとの連携を強化するとともに、文化・芸術・スポーツやアフターコンベンションに関する情報を発信し、大規模コンベンション等の誘致に取り組みます。



かがわ国際会議場での学術会議

成果指標

指標名	指標の説明	現況値	目標値	
			(平成31年度)	(平成35年度)
まつり・イベント入込客数	観光イベント振興事業補助対象事業入込客数	967 千人	1,020 千人	1,030 千人
コンベンション数	(公財) 高松観光コンベンション・ビューロー報告の「コンベンション統計」における開催件数	217 件	270 件	306 件



3-5-①

国際・国内交流の推進

目的

国内外の様々な地域との相互理解を深める国際交流・国内交流を推進します。

現状

本市では、海外の姉妹・友好都市であるセント・ピーターズバーグ市（アメリカ）、トゥール市（フランス）や南昌市（中国）と、親善研修生の相互派遣や、外国語教師の招へい等の親善交流事業を実施するとともに、（公財）高松市国際交流協会の運営に対して助成を行うことにより、市民レベルでの国際交流の促進に努めています。

また、多文化共生推進事業として、在住外国人への情報提供や市役所を訪れる外国人に対し

て通訳支援等を行うため、英語や中国語の専門性を有する職員を配置しています。

国内交流では、姉妹城都市の彦根市、親善都市の水戸市、友好都市の由利本荘市など、都市提携を結んでいる各都市との交流を深めるとともに、下野市と歴史文化交流協定を締結したほか、金沢市と文化・観光交流協定を締結し、観光PRブースの出展や伝統的ものづくりに携わる職人の派遣などにも取り組んでいます。



セント・ピーターズバーグ親善研修生の
高松市長表敬



トゥール市との姉妹都市提携25周年記念式典



南昌市中學生訪問団

課題

- 国外・国内の姉妹・友好都市等との交流が形式的にならないよう、事業の継続的な見直しが必要です。
- 本市外国語版ホームページや多言語メルマガの活用など、外国人への適時・適切な情報提供が重要です。
- 都市提携の効果がより大きなものとなるよう、その目的や分野を明確にすることが重要です。

取組方針

1 国際交流の推進

姉妹・友好都市等との交流活動を推進し、市民の国際感覚の醸成を図るとともに、（公財）高松市国際交流協会の運営に対する助成を行うことにより、市民レベルでの交流活動を促進します。

また、より効果的で積極的な民間レベルでの交流活動を促進するため、市民ボランティアや民間団体の人材を育成します。

2 多文化共生のまちづくり

国際化の進展に伴い、本市ホームページや案内表示版等の多言語化の需要が高まる中、外国語に専門性を有する職員を配置するほか、外国語版ホームページや多言語メルマガの充実を図るなど、多文化共生のまちづくりを推進します。

3 国内交流の推進

観光や産業、文化など、その目的を明確にしながら、都市提携をしている国内の各都市との市民レベルでの交流を深めることにより、交流人口の増加や地域の活性化に努めます。



下野市との都市提携調印式



金沢市との交流（物産展）

成果指標

指標名	指標の説明	現況値	目標値	
			（平成31年度）	（平成35年度）
姉妹・友好都市等との交流事業参加者数	姉妹・友好都市等との交流事業に参加した人数	299人	350人	400人
国内の提携都市との交流事業参加者数	国内の提携都市との交流事業に参加した人数	307人	350人	400人



3-5-② 移住・交流の促進

目的

香川県を始め関係団体等と連携しながら、地域を活性化することにより、人口減少、少子・超高齢社会に対応した移住・交流の促進に取り組みます。

現状

香川県及び県内各市町で構成する香川県移住・交流推進協議会が実施する移住フェア等に参加するほか、パンフレットやホームページによる情報発信や、転入状況アンケートを実施しています。

また、平成27年度からは、地域力の維持・強化を図ることを目的とした地域おこし協力隊を、特に過疎化が進む地域において受け入れ、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PRなど、地域協力活動を行いながら、その地域の活性化に取り組んでいます。



移住フェア（U・Iターン相談会）

課題

- ライフスタイルが、スローライフや田舎暮らし、二地域居住など多様化する中、地域の空き家などをいかした、移り住みたいと思える地域づくりをすることが求められています。
- 移住希望者等に対し、生活に密着した情報提供を行うなど、多様なニーズに応えられる相談体制の充実や情報発信の強化が求められています。
- グローバル化の進展に伴い、文化や価値観などの違いを互いに理解し合う環境をつくる必要があります。

取組方針

1 選ばれる地域づくりの推進

人口減少、少子・超高齢社会に対応するため、香川県及び関係団体等と連携しながら、若者から選ばれ、移り住みたいと思える地域づくりを推進します。



男木小学校・中学校再開式

2 行政や市民・民間団体との情報発信

香川県や関係機関とともに、市民やNPO、民間事業者等との連携を図りながら、先進地の取組事例や国等の支援メニュー等に関する情報の共有や、大都市圏での情報発信などを共同して実施し、移住・交流の促進に努めます。



高松市移住ナビ

成果指標

指標名	指標の説明	現況値	目標値	
			(平成31年度)	(平成35年度)
高松市移住ナビ(ホームページ) 閲覧件数	高松市移住ナビのホームページ閲覧件数	9,629 件	13,000 件	16,000 件
年間社会増	本市の1年間の転入者数と転出者数の差(社会増減)	289 人	1,000 人	1,570 人